令和6年度

洲本市地域おこし協力隊
中間活動報告

企画課　|　藤田 美沙子

プロフィール / 主な活動内容と目的

具体的な活動内容

今後の活動について

プロフィール

藤田　美沙子

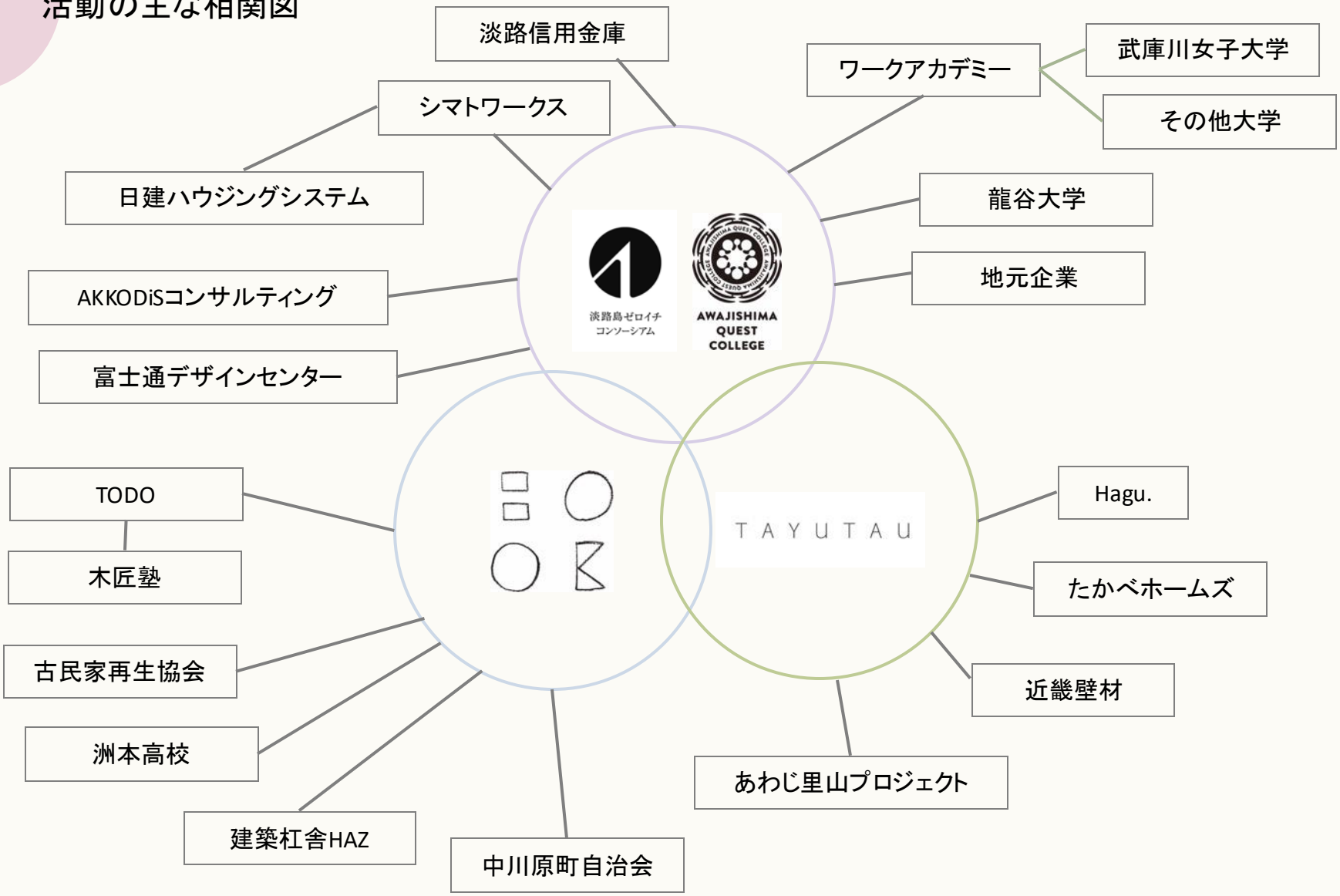
転出元	大阪府大阪市
委嘱日	2022年6月1日～ （2025年5月31日卒隊予定）
経歴	2010年4月～ タビオ株式会社にて フランチャイズ店SV 商品企画 WEB/店舗販促企画　を経験 2022年2月退職後、 協力隊着任と同時に洲本市へ移住 現在に至る

主たる活動内容と目的

■主な活動内容	淡路島ゼロイチコンソーシアム 淡路島クエストカレッジの推進	島内外を繋ぐ 地域交流拠点HOOKの立ち上げ	アロマ・ハーブ関連ブランド TAYUTAUの商品開発と出店
■活動の目的	・ローカルプロジェクトの 立ち上げ推進 ・域学連携活動の推進	・地域コミュニティづくり ・域学連携活動の推進	・地域資源の利活用と発信
	関係人口の創出拡大		

→ 洲本市の活性化に繋がる活動＋卒隊後も自活するための準備

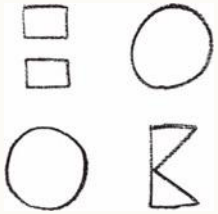
活動の主な相関図


淡路信用金庫
シマトワークス
日建ハウジングシステム
AKKODiSコンサルティング
富士通デザインセンター
ワークアカデミー
武庫川女子大学
その他大学
龍谷大学
地元企業
淡路島ゼロイチ
コンソーシアム
AWAJISHIMA
QUEST
COLLEGE
TODO
木匠塾
古民家再生協会
洲本高校
建築杠舎HAZ
中川原町自治会
TAYUTAU
Hagu.
たかべホームズ
近畿壁材
あわじ里山プロジェクト

具体的な活動内容

具体的な活動内容

淡路島ゼロイチコンソーシアム
淡路島クエストカレッジの推進



島内外を繋ぐ
地域交流拠点HOOKの立ち上げ

TAYUTAU

アロマ・ハーブ関連ブランド
TAYUTAUの商品開発と出店

具体的な活動内容 ｜ 淡路島ゼロイチコンソーシアム

島外企業のローカルプロジェクト立ち上げ推進支援

日建ハウジングシステム
竹の活用とデザインへのチャレンジ
龍谷大学協働ワークショップ
メンマサミットの舞台演出

富士通デザインセンター
淡路島課題探索プロジェクト

具体的な活動内容　|　淡路島ゼロイチコンソーシアム

新規島外企業へのPRと既存企業の活動促進を目的としたイベント開催

2024年6月
大阪京橋・クイントブリッジ
20名の予約枠に対して、
50名近くの企業関係者が集った

具体的な活動内容

淡路島ゼロイチ
コンソーシアム

AWAJISHIMA QUEST COLLEGE

淡路島ゼロイチコンソーシアム
淡路島クエストカレッジの推進

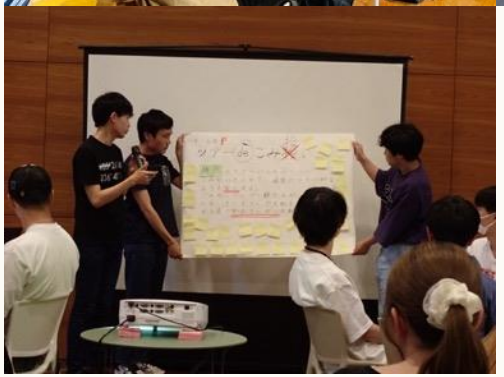
島内外を繋ぐ
地域交流拠点HOOKの立ち上げ

TAYUTAU

アロマ・ハーブ関連ブランド
TAYUTAUの商品開発と出店

大学・若手社会人を対象としたプログラムの企画運営

2024年4月
淡路信用金庫新入社員
地域活性化案を考えるプログラム



2024年6月
龍谷大学スタディツアー
海洋ゴミ削減プロジェクト
企画立案プログラム

・今年度参加者70人
・現在、9月～11月にかけて2つのプログラムが進行中
・昨年度と合計すると306人がプログラムを通して
洲本市に関わっている

具体的な活動内容 ｜ 淡路島クエストカレッジ

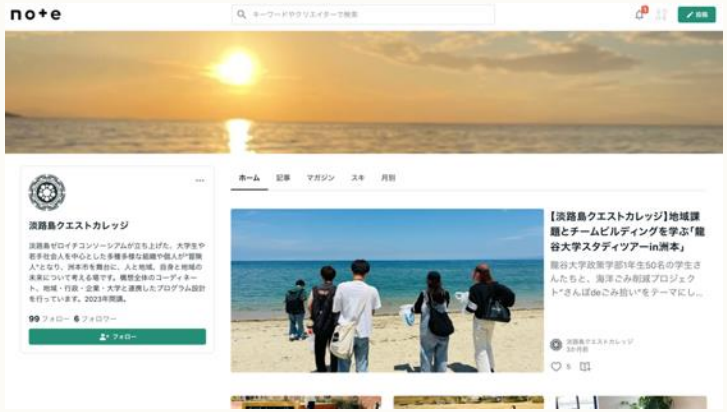
大学・学生とのさらなる繋がりを作るため、広報PRを強化

PR動画の制作とホームページの刷新

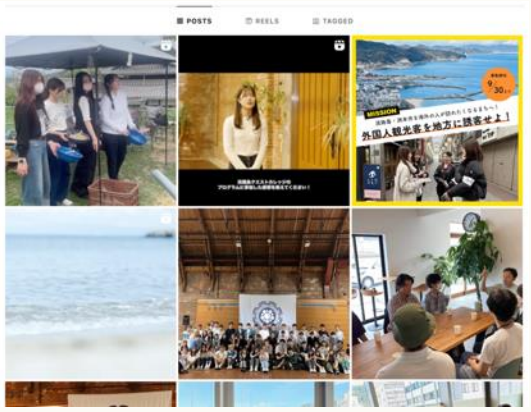
配布用リーフレットの制作

大学や企業への
PR用の冊子を作成し、
関係者へのヒアリングに
活用。

noteを使ったレポート記事の発信



専用Instagramの立ち上げとSNS広告の活用



大学生の参加の動機は
“口コミ”が強い。
目に触れる機会を増やし、
HPやSNSを活用しながら、
実際のプログラムの様子
や参加者の声を発信。

具体的な活動内容

淡路島ゼロイチ
コンソーシアム

AWAJISHIMA
QUEST
COLLEGE

淡路島ゼロイチコンソーシアム
淡路島クエストカレッジの推進

島内外を繋ぐ
地域交流拠点HOOKの立ち上げ

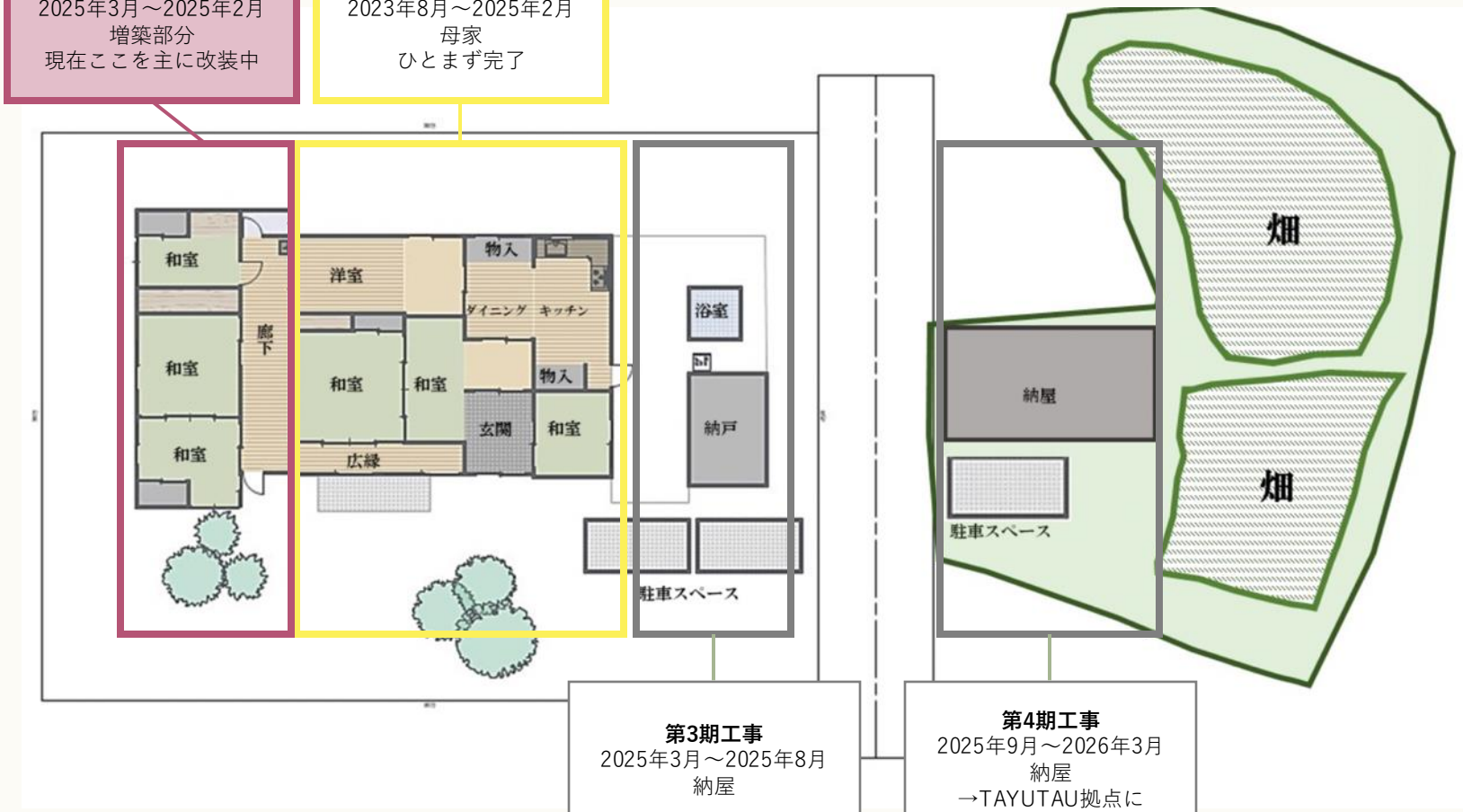
TAYUTAU

アロマ・ハーブ関連ブランド
TAYUTAUの商品開発と出店

空き家の改装スケジュール

第2期工事
2025年3月～2025年2月
増築部分
現在ここを主に改装中

第1期工事
2023年8月～2025年2月
母家
ひとまず完了



第3期工事
2025年3月～2025年8月
納屋

第4期工事
2025年9月～2026年3月
納屋
→TAYUTAU拠点に

今年度の改装状況と兵庫県発行の冊子に掲載

BEFORE

AFTER

兵庫県発行
移住・定住のしおり
8月号に掲載されました

木匠塾洲本プロジェクト始動

加子母木匠塾について
発足から30年続いている、岐阜県中津川市加子母で木材の加工や知識を学ぶ学生団体。
全国から集まった学生が、森林や林業と深い関わりを持つ加子母村で木造建築実習に取り組む夏の合宿として開催されている。現在は主に京都芸術、立命館、滋賀県立、金沢工業、名城、東洋大学の建築学生が取り組む。

木匠塾の課題

加子母木匠塾は発足から30年目を迎え、
活動場所の拡大とさらなる発展が課題に。

洲本PJの立ち上げ

木匠塾OBとの繋がりから、洲本プロジェクトが発足。
加子母で活動する木匠塾の学生たちが、洲本市で木造建築学習を行う。
5年間を一区切りに、プロジェクトを始動。

1年目～2年目
建築物制作＠HOOK
PJの仕組み作り

3年目～4年目
洲本市内に
エリアを広げて建築物制作
他学生と連携した活動

5年目
4年間の知見を活かし、
“洲本木匠塾”を自走化

木匠塾洲本プロジェクト今年度の活動

6月8日～9日
・古民家再生協会の方々とのお話
・HOOK制作物話し合い

7月20日～22日
・HOOK制作物話し合い
・由良漁港体験
（洲本について知る学ぶ）
・制作物の試作

11月3日～4日
・制作物の土台作り
・11月の本作業の準備

11月15日～18日
・本制作
約20人が参加
（立命館・京都芸術・滋賀県立・東洋から参加予定）

11月の本制作期間は
交流会を開催予定です。
学生の制作活動の様子を
ぜひ見に来てください。

具体的な活動内容

淡路島ゼロイチ
コンソーシアム

AWAJISHIMA QUEST COLLEGE

淡路島ゼロイチコンソーシアム
淡路島クエストカレッジの推進

島内外を繋ぐ
地域交流拠点HOOKの立ち上げ

TAYUTAU

アロマ・ハーブ関連ブランド
TAYUTAUの商品開発と出店

具体的な活動内容　|　アロマ・ハーブ関連ブランドTAYUTAU

身近な植物を蒸留し商品開発、島内イベント出店

セイタカアワダチソウ、葉山椒、クロマツ、伐採されるユーカリと
天然精油を調香したアロマスプレーの開発

体験ワークショップの開催
蒸留体験・天然精油を調香した香水作り体験

島内イベントにて出店販売

具体的な活動内容 ｜ アロマ・ハーブ関連ブランドTAYUTAU

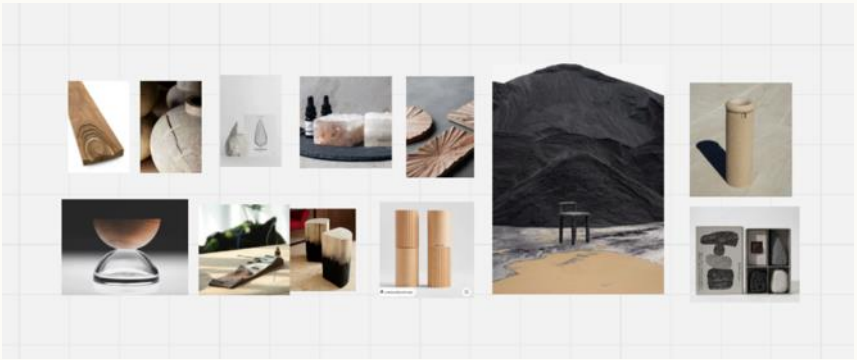
OEM・プロデュースラインをスタート

TAKABE HOMES

たかべホームズさんがインテリア関連商品販売事業を立ち上げる。
TAYUTAUが調香した精油を用いて、インテリアアイテムを作るプロジェクトに参画。
初の香りのプロデュースに挑戦させていただくことに。

たかべホームズさん主催のイベントにて
香りアイテムと暮らしについてヒアリング

現在プロダクトデザイナーを交えて
アイテムの形や価格帯を検討中

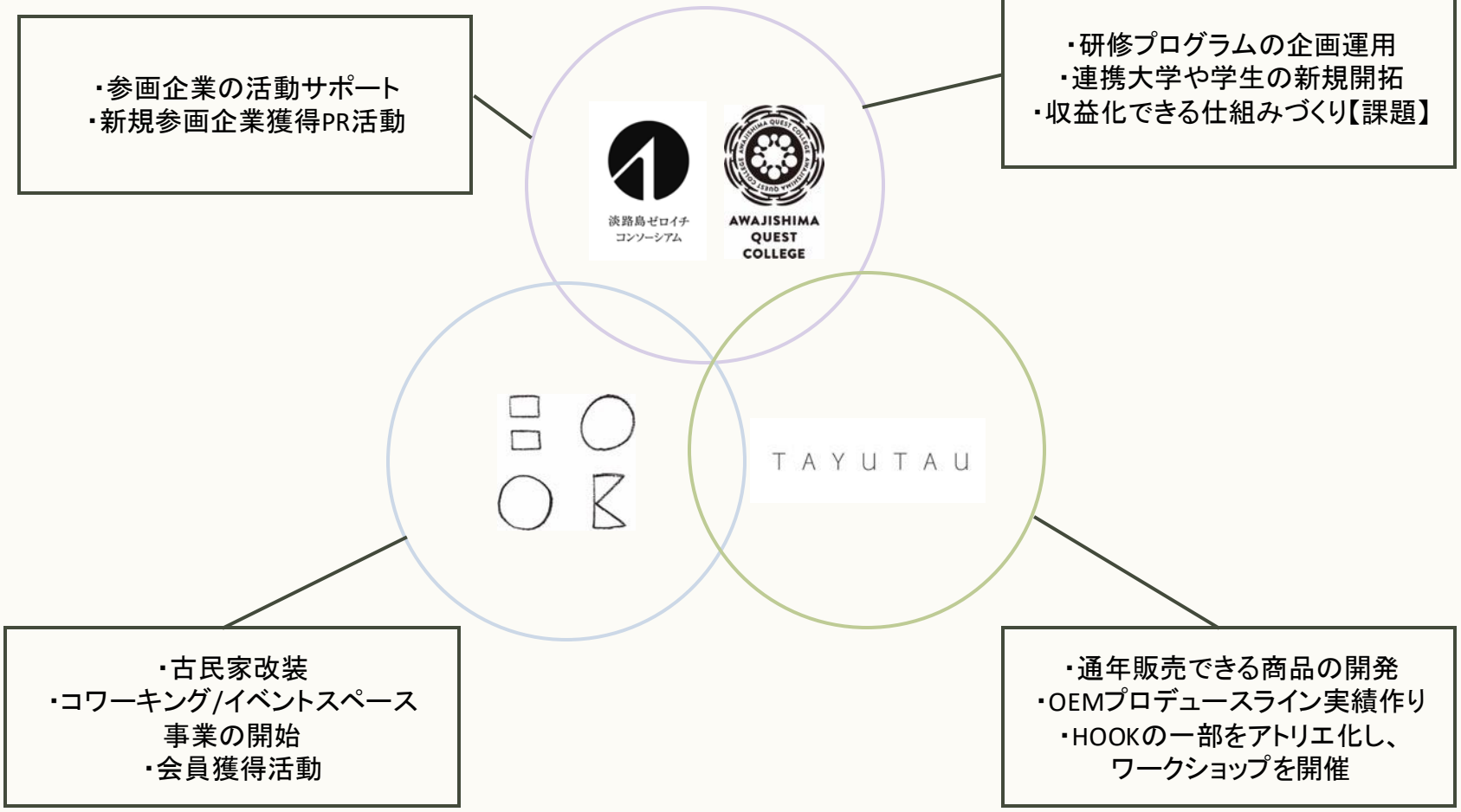


主な販売先は、都市部のインテリア専門店等
来年1月頃の販売を目標にしています

今後の活動について

今後の活動について

主に三本柱で生計を立てつつ、洲本市の活性化に引き続き取り組む



今後の活動について|　淡路島ゼロイチコンソーシアム・淡路島クエストカレッジ

企業や大学との繋がり作りとプログラム継続可能な収益性の確保

淡路島ゼロイチ
コンソーシアム

・参画企業の活動サポート

・コンソーシアムの活動促進のための
新規企業の誘致、PR活動

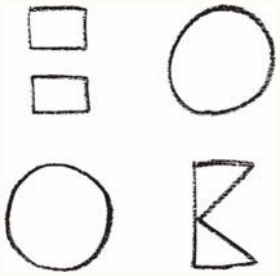
AWAJISHIMA QUEST COLLEGE

AWAJISHIMA
QUEST
COLLEGE

・大学や参加学生との繋がり作りを目的に
SNSやリーフレットを活用したPR活動

・プログラムが継続運営できるための
収益性の確保、仕組み作り

今年11月末にプレオープン、木匠塾洲本プロジェクトの推進



・引き続き古民家改修を続ける

・11月末にプレオープン
中期滞在型コワーキングスペース/
イベントスペース事業のPR開始
（来年5月より正式オープン）

・木匠塾洲本プロジェクトの推進

11月24日（日）
北海道からアーティストを呼んで
プレオープンLIVEイベントを開催します！
（詳しくはHOOKのInstagramにて）

通年販売商品の開発と販路拡大、HOOKのアトリエ化

TAYUTAU

・通年販売できる商品の開発

・都市部店舗での委託販売営業

・プロデュース事業の実績作り

・HOOKの納屋と畑の一部をアトリエに
　蒸留体験やワークショップの企画開催

担当者からのコメント

- 淡路島ゼロイチコンソーシアムと淡路島クエストカレッジについては、設立当初から企画や運営など中心的な役割を果たし、大学対象・行政主導であった域学連携に民間の強みを加え、約2年で一気に発展させた。
  多様な人々が、課題解決型のプロジェクトを通して本市に深く関わることで、関係人口（冒険人材）の創出拡大につながっている。

- 特に、兵庫県がワーケーションや関係人口に関する実証事業を実施するにあたり、そのフィールドに本市を選んだことも、藤田隊員の活躍があってこそだと思う。

- 卒隊後の自立自走に向け、二ツ石の活動拠点の改修に注力しているが、域学連携の大先輩である加子母木匠塾の協力を得てDIYを進めている点は大変ユニーク。
  このご縁を大切にし、今後の本市の域学連携、特にリノベーション系の活動で生かしたい。

- 任期も残すところ7か月少々、活動期間を通して作り上げたたくさんの仲間とともに、本市で活躍し続けていただけると確信している。

（企画課政策調整係　高橋）